



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>

代表者 （役職名）代表取締役兼経営執行役員社長 Group C00 （氏名）津久井 幸一

問合せ先責任者 （役職名）経営執行役員 CFO&CSO

（氏名）三橋 靖夫 TEL 03-3214-7500

半期報告書提出予定日 2024年11月13日

配当支払開始予定日 2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

（百万円未満四捨五入）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		税引前中間利益		中間利益		親会社の所有者に帰属する中間利益		中間包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	329,206	51.4	94,859	169.0	92,645	178.1	69,343	167.3	69,343	167.3	56,478	26.6
2024年3月期中間期	217,511	△20.8	35,269	△59.9	33,317	△65.0	25,938	△63.5	25,938	△63.5	44,628	△49.0

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	93.92	93.64
2024年3月期中間期	35.18	35.06

（注）当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり中間利益」および「希薄化後1株当たり中間利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	762,110	475,811	475,811	62.4
2024年3月期	671,229	431,178	431,178	64.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	65.00	—	18.00	—
2025年3月期	—	19.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2024年3月期の年間配当については、株式分割の実施により単純合算ができないため、表示しておりません。

なお、株式分割を考慮しない場合の年間配当金は137円、株式分割を考慮する場合の年間配当金は34.25円です。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	31.6	165,000	102.1	162,500	107.9	122,000	95.9	122,000	95.9	165.01

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細は、添付P. 4「（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」は、2024年9月30日現在の「期末発行済株式数（自己株式を含む）」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。詳細な株式数は、※注記事項（3）発行済株式数（普通株式）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	766,141,256株	2024年3月期	766,141,256株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	26,802,832株	2024年3月期	27,729,675株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	738,334,137株	2024年3月期中間期	737,318,084株

（注）1. 期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれておりません。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約中間連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約中間連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約中間連結持分変動計算書	P. 7
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9
2024年度第2四半期 (中間期) 決算 (連結) の概要	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)の状況

(単位:億円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	前年同期比
売上高	2,175	3,292	51.4%
営業利益	353	949	2.7倍
税引前中間利益	333	926	2.8倍
中間利益	259	693	2.7倍

当中間連結会計期間における世界経済は、欧米諸国を中心とした金融引き締め政策が緩和に向かう中で、全体として底堅く推移しました。一方で長期化するウクライナ情勢に加え、中東情勢の緊迫化など地政学リスク上昇に伴う先行きへの懸念も高まりました。

このような世界経済情勢のもと、データセンタ向けのHPCデバイスやHBMなどの高性能DRAMといった、AIの普及に関連する半導体の需要が半導体市場の伸びを牽引したことから、半導体市場は、前年同期の調整局面から一転して、回復傾向となりました。一方で、AI用途以外の半導体は依然として軟調に推移しており、半導体市場全体としての需要の回復はまだらな様相を呈しました。

当社グループの半導体試験装置ビジネスにおいては、AI関連の高性能半導体向け需要が大幅に拡大しました。当社グループは、顧客の要求納期に最大限応えるべく、部材調達および製品供給能力の確保に努めました。

これらの結果、売上高は3,292億円(前年同期比51.4%増)、営業利益は949億円(同2.7倍)、税引前中間利益は926億円(同2.8倍)、中間利益は693億円(同2.7倍)となりました。顧客の旺盛な需要と収益性の高い製品の販売比率上昇、円安による増収・増益効果などにより、売上高、営業利益は中間連結会計期間としての過去最高額を更新しました。当中間連結会計期間の平均為替レートは、米ドルが154円(前年同期139円)、ユーロが167円(同151円)、海外売上比率は97.0%(前年同期95.4%)でした。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	前年同期比
売上高	1,517	2,466	62.5%
セグメント利益(△損失)	396	947	2.4倍

当部門では、自動車や産業機器関連などの成熟半導体向けでの需要が軟調である一方で、HPCデバイスなどの性能向上を背景に、先端プロセス品向けの需要が高まったことから、S o C半導体用試験装置の売上が大幅に増加しました。メモリ半導体用試験装置については、HBMをはじめとする高性能DRAMに向けた旺盛な試験装置需要を背景に売上が伸長しました。

以上により、当部門の売上高は2,466億円(前年同期比62.5%増)、セグメント利益は947億円(同2.4倍)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位:億円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	前年同期比
売上高	210	315	50.2%
セグメント利益(△損失)	17	63	3.6倍

当部門では、半導体試験装置に対する顧客の旺盛な需要を背景に、関連するデバイス・インタフェースの売上が伸長しました。ナノテクノロジー関連の売上も増加しました。

以上により、当部門の売上高は315億円(前年同期比50.2%増)、セグメント利益は63億円(同3.6倍)となりました。

<サービス他部門>

(単位:億円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	前年同期比
売上高	448	511	14.1%
セグメント利益(△損失)	19	41	2.2倍

当部門では、当社グループ製品の設置台数の増加に伴いサポート・サービスの売上は伸長しました。利益面については、増収に加え売上ミックスの変動により、当セグメントの収益性が改善しました。なお前年同期のセグメント利益は、取引先との係争に関する受取和解金等による利益約32億円を含んでいます。

以上により、当部門の売上高は511億円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は41億円(同2.2倍)となりました。

(2) 財政状態の概況

当中間期末の総資産は、現金および現金同等物が605億円、営業債権およびその他の債権が252億円、棚卸資産が141億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比909億円増加の7,621億円となりました。負債合計は、未払法人所得税が215億円、営業債務およびその他の債務が192億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比462億円増加の2,863億円となりました。また、資本合計は4,758億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.8ポイント減少の62.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間期末における現金および現金同等物は、前年度末より605億円増加し、1,672億円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間利益926億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の増加(△292億円)、営業債務およびその他の債務の増加(199億円)に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、929億円の収入(前年同期は、1億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、118億円の支出(前年同期は、177億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△71億円)と子会社の取得(△38億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、161億円の支出(前年同期は、52億円の収入)となりました。これは主に、配当金の支払(△133億円)とリース負債の返済(△27億円)によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境を展望しますと、暦年2024年はAI関連の投資の活発化から、半導体市場は成長軌道への回帰を見ています。AIの進展が半導体の高性能化と生産需要の拡大を促す中、半導体試験装置市場においても、関連する装置需要の顕著な増加を見込みます。具体的には高性能DRAMに向けた旺盛な試験装置需要に加え、S o C半導体用試験装置においても半導体の複雑性の増加がテスト需要を想定よりも急峻なペースで引き上げています。全体としては、暦年2024年の半導体試験装置市場は従前の見通しよりも強い需要の伸びを想定します。その一方で、自動車や産業機器向けをはじめとする、AI関連用途以外の試験装置の需要回復には時間を要すると見込んでおり、アプリケーションごとの需要には濃淡がある状況です。

これらの見通しおよび当中間連結会計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を次のとおり修正します。売上高は2024年7月時点の6,000億円から6,400億円へ、営業利益は1,380億円から1,650億円へ、税引前利益は1,385億円から1,625億円へ、当期利益は1,050億円から1,220億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度下期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが140円、ユーロが155円です。なお、米国および同盟国による半導体製造装置の対中輸出規制に関し、現行法令において当連結会計年度の業績に対する直接的な影響は限定的と考えておりますが、引き続き今後の状況を注視してまいります。

中長期的には、半導体市場の拡大に加えて半導体サプライチェーンにおける複雑性への対応が業界における構造課題となる中で、当社グループの事業機会は拡大するものと考えています。そうした環境下、当社グループは当連結会計年度を初年度とする第3期中期経営計画で掲げた施策を推し進め、中長期的なステークホルダーへの提供価値拡大に取り組んでまいります。

2. 要約中間連結財務諸表および主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	106,702	167,164
営業債権およびその他の債権	88,855	114,098
棚卸資産	204,389	218,526
その他の流動資産	20,315	19,837
流動資産合計	420,261	519,625
非流動資産		
有形固定資産	78,884	74,764
使用権資産	19,106	17,312
のれんおよび無形資産	98,514	96,162
その他の金融資産	20,139	18,280
繰延税金資産	33,423	34,869
その他の非流動資産	902	1,098
非流動資産合計	250,968	242,485
資産合計	671,229	762,110
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	76,863	96,039
未払法人所得税	10,262	31,750
引当金	8,668	9,223
リース負債	5,147	5,180
その他の金融負債	1,868	2,206
その他の流動負債	23,469	29,944
流動負債合計	126,277	174,342
非流動負債		
借入金	75,143	74,275
リース負債	14,153	12,347
退職給付に係る負債	19,134	18,967
繰延税金負債	3,934	4,111
その他の非流動負債	1,410	2,257
非流動負債合計	113,774	111,957
負債合計	240,051	286,299
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	45,441	45,047
自己株式	△56,353	△54,465
利益剰余金	355,299	411,076
その他の資本の構成要素	54,428	41,790
親会社の所有者に帰属する持分合計	431,178	475,811
資本合計	431,178	475,811
負債および資本合計	671,229	762,110

(2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書

(要約中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	217,511	329,206
売上原価	△108,502	△142,209
売上総利益	109,009	186,997
販売費および一般管理費	△77,164	△92,374
その他の収益	3,616	671
その他の費用	△192	△435
営業利益	35,269	94,859
金融収益	546	959
金融費用	△2,498	△3,173
税引前中間利益	33,317	92,645
法人所得税費用	△7,379	△23,302
中間利益	25,938	69,343
中間利益の帰属 親会社の所有者	25,938	69,343
1株当たり中間利益		
基本的	35.18円	93.92円
希薄化後	35.06円	93.64円

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益	25,938	69,343
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	△227
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△3,683	△662
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	22,373	△11,976
税引後その他の包括利益	18,690	△12,865
中間包括利益	44,628	56,478
中間包括利益の帰属 親会社の所有者	44,628	56,478

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2023年4月1日 残高	32,363	44,622	△59,099	319,171	31,637	368,694	368,694
中間利益				25,938		25,938	25,938
その他の包括利益					18,690	18,690	18,690
中間包括利益	—	—	—	25,938	18,690	44,628	44,628
自己株式の取得			△12			△12	△12
自己株式の処分		△1,128	2,149	△435		586	586
自己株式の消却			36	△36		—	—
配当金				△12,895		△12,895	△12,895
株式に基づく報酬取引		812				812	812
所有者との取引額等合計	—	△316	2,173	△13,366	—	△11,509	△11,509
2023年9月30日 残高	32,363	44,306	△56,926	331,743	50,327	401,813	401,813

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2024年4月1日 残高	32,363	45,441	△56,353	355,299	54,428	431,178	431,178
中間利益				69,343		69,343	69,343
その他の包括利益					△12,865	△12,865	△12,865
中間包括利益	—	—	—	69,343	△12,865	56,478	56,478
自己株式の取得			△3			△3	△3
自己株式の処分		△1,653	1,891	△48		190	190
配当金				△13,291		△13,291	△13,291
株式に基づく報酬取引		1,259				1,259	1,259
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△227	227	—	—
所有者との取引額等合計	—	△394	1,888	△13,566	227	△11,845	△11,845
2024年9月30日 残高	32,363	45,047	△54,465	411,076	41,790	475,811	475,811

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	33,317	92,645
減価償却費および償却費	12,492	14,258
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	27,098	△29,231
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24,835	△13,245
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△18,254	19,928
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△199	577
前受金の増減額 (△は減少)	7,729	8,159
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△381	47
その他	△10,672	1,266
小計	26,295	94,404
利息および配当金の受取額	500	940
利息の支払額	△720	△911
法人所得税の支払額	△25,978	△1,565
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	97	92,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	1,150	—
有形固定資産の取得による支出	△9,957	△7,142
無形資産の取得による支出	△382	△1,028
子会社の取得による支出	△8,260	△3,815
その他	△276	137
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△17,725	△11,848
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	—
自己株式の処分による収入	542	191
自己株式の取得による支出	△12	△3
配当金の支払額	△12,893	△13,278
リース負債の返済による支出	△2,387	△2,684
その他	△1	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	5,249	△16,100
現金および現金同等物に係る換算差額	4,567	△4,458
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△7,812	60,462
現金および現金同等物の期首残高	85,537	106,702
現金および現金同等物の中間期末残高	77,725	167,164

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、半導体・部品テストシステム製品群とテスト・ハンドラやデバイス・インタフェース等のメカトロニクス関連製品群の製造・販売を主な事業内容とし、その他にこれらに関連する研究開発および保守・サービス等の事業活動を展開しております。当社グループは3つの報告可能な事業セグメントを有しております。これらの報告可能な事業セグメントは、製品と市場の性質に基づいて決定され、経営者が経営意思決定のために使用する財務情報と同様の基礎情報を用いて作成されております。

半導体・部品テストシステム事業部門は、半導体・電子部品産業においてテストシステム製品を顧客に提供することを事業としております。この事業部門は、SoC半導体デバイス向けのSoCテスト・システム、メモリ半導体デバイス向けのメモリ・テスト・システムなどの製品群を事業内容としております。

メカトロニクス関連事業部門は、半導体デバイスをハンドリングするメカトロニクス応用製品のテスト・ハンドラ、被測定物とのインタフェースであるデバイス・インタフェースおよびナノテクノロジー関連の製品群を事業内容としております。

サービス他部門の内容は、上記の事業に関連した総合的な顧客ソリューションの提供、半導体やモジュールのシステムレベルテストのソリューション、サポート・サービス、消耗品販売、中古販売および装置リース事業等で構成されております。

2. 報告セグメントに関する情報

当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

株式報酬費用は、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。

報告セグメントの利益(△損失)は、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。

セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	151,717	20,976	44,818	—	217,511
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	151,717	20,976	44,818	—	217,511
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	39,568	1,719	1,854	△6,930	36,211
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△942
営業利益	—	—	—	—	35,269
金融収益	—	—	—	—	546
金融費用	—	—	—	—	△2,498
税引前中間利益	—	—	—	—	33,317

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	246,578	31,506	51,122	—	329,206
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	246,578	31,506	51,122	—	329,206
セグメント利益(△損失)(調整前営業利益(△損失))	94,723	6,265	4,106	△8,976	96,118
(調整)株式報酬費用	—	—	—	—	△1,259
営業利益	—	—	—	—	94,859
金融収益	—	—	—	—	959
金融費用	—	—	—	—	△3,173
税引前中間利益	—	—	—	—	92,645

(注) 1. 全社に含まれるセグメント利益(△損失)への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. 前中間連結会計期間におけるサービス他のセグメント利益には、取引先との係争に関する受取和解金等3,179百万円が含まれます。

2024年10月30日
株式会社アドバンテスト

2024年度第2四半期(中間期) 決算(連結)の概要

1. 損益

(単位: 億円)

	2023年度実績	2024年度実績					2024年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	4,865	1,387	1,905	37.3%	3,292	51.4%	(6,000)	31.6%
売上原価	△2,405	△618	△804	30.0%	△1,422	31.1%	—	—
販売費および一般管理費	△1,590	△456	△468	2.8%	△924	19.7%	—	—
その他の収益・費用	△54	0	3	—	3	△93.1%	—	—
営業利益 (売上高比率)	816 (16.8%)	313 (22.6%)	636 (33.4%)	2.0倍	949 (28.8%)	2.7倍	(1,380) 1,650 (25.8%)	2.0倍
金融収益・金融費用	△34	6	△29	—	△23	13.4%	—	—
税引前当期利益 (売上高比率)	782 (16.1%)	319 (23.0%)	607 (31.9%)	90.2%	926 (28.1%)	2.8倍	(1,385) 1,625 (25.4%)	2.1倍
法人所得税費用	△159	△80	△153	89.2%	△233	3.2倍	—	—
当期利益 (売上高比率)	623 (12.8%)	239 (17.2%)	454 (23.9%)	90.5%	693 (21.1%)	2.7倍	(1,050) 1,220 (19.1%)	95.9%

(注) 上段()の数値は、2024年7月31日発表時の予想であります。

2. 財政状態

(単位: 億円)

	2023年度実績	2024年度実績		
	4Q末	1Q末	2Q末	1Q比
総資産	6,712	7,232	7,621	5.4%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	4,312	4,569	4,758	4.1%
親会社所有者帰属持分比率	64.2%	63.2%	62.4%	—

3. 配当の状況

(単位: 円)

	2023年度実績			2024年度		
	中間	期末	年間	中間	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	65.00	18.00	—	(19.00) 19.00	未定	未定

(注) 1. 上段()の数値は、2024年7月31日発表時の予想であります。

- 現時点では2024年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。
- 当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。
2023年度の中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
2023年度の年間配当については、株式分割の実施により単純合算ができないため、表示しておりません。
なお、株式分割を考慮しない場合の年間配当金は137円、株式分割を考慮する場合の年間配当金は34.25円です。